

海面上昇、最大 5 メートル=温暖化で 2300 年までに - IPCC 報告書

9/25(水) 18:36 配信



国連の気候変動に関する政府間パネル（IPCC）は 25 日、地球温暖化が海面上昇や海洋生態系に与える影響などに関する特別報告書をまとめ、公表した。

温暖化がこのままのペースで進むと、南極の氷床などが解けて 2300 年までに海面が最大 5.4 メートル上昇する可能性を指摘。今世紀末までに世界全体の漁獲量が最大 24.1%減少すると予測した。

報告書によると、2006 年から 15 年までの間に、南極の氷床が解けたことで毎年 0.43 ミリメートル、グリーンランドの氷床が解けた影響によっても毎年 0.77 ミリメートル海面が上昇した。こうした状況が続けば、1986 年から 05 年までの平均と比べ、2100 年に最大 1.1 メートル、2300 年までに最大 5.4 メートルの上昇につながる恐れがあるとした。

海面が上がると、土地が低い島しょ国では住む場所を奪われることになる。日本でも東京や名古屋、大阪の海拔ゼロメートル地帯が拡大して水害のリスクが高まるなど、甚大な影響が予想される